

# 医療勤務環境改善支援センターの活用事例 <札幌麻生脳神経外科病院> ～医師をリーダーとする院内組織が中心となり、残業削減・有休取得率向上に取り組む事例～

- 医療法人札幌麻生脳神経外科病院（札幌市東区、1985年4月開設）
  - ・ 許可病床数：145床（一般急性期7：1→105床、回復期リハビリⅡ→40床）
  - ・ 診療科目：脳神経外科、神経内科、リハビリテーション科、放射線科
  - ・ 職員数：正職員276名（常勤医師10名、看護師125名など）



（写真：札幌麻生脳神経外科病院ホームページより）

## ○医療勤務環境改善支援センターへの相談の経緯

2018年4月

- ・ 院内の「未来を見つめる会」においてワークライフバランスに関する取組の重要性が提起される

2018年6月

- ・ 院内ワークライフバランスプロジェクトチーム発足
- ・ メンバーは統括診療部長（医師）、各フロアの看護師長、手術部師長、医事課長

- ・ 院内における推進組織が設置されている
- ・ 推進組織メンバーの中心は医師  
→院内全体の取組として位置づけられている

2018年7月

- ・ 医療勤務環境改善支援センターに連絡、院内でのワークライフバランス実現に向けた取組支援について打診
- ・ 7/11、センター相談員が訪問し、支援内容について説明

センター活用について院長・理事長  
はじめ院内の理解・同意を得る

- ・ 院長・理事長などが取組を承認
- ・ 組織として取組を推進できる

2018年8月

- ・ 8/22、センター相談員による初回ヒアリングを実施
- ・ 支援プランの作成・提示、合意。センターによる支援開始

## ○医療勤務環境改善支援センターによる支援の手順

### ステップ1

病院の現状・課題認識の把握、課題設定

#### ○解決したい課題の設定

- ・ 残業の要因となっている業務内容を詳しく分析して、具体的な解決策を検討したい
- ・ 残業や休暇取得に対する職員の要望やニーズを把握したい

### ステップ2

課題解決に向けたセンターによる支援の検討

#### ○支援プランの作成

- ・ 課題解決に向けた具体策検討のための基礎的な情報収集（基礎調査）を主な内容として作成

### ステップ3

センターによる具体的な支援の実施

#### ○主な支援

- ・ 勤怠データの分析、業務内容の整理  
管理者ヒアリング、職員アンケート  
→調査結果をもとに、取り組むべき方向性を助言

### ステップ4

課題解決に向けた具体策の検討と取組の運用

- 調査結果や助言を踏まえ、課題解決に向けた具体策を検討・決定  
→「勤務環境改善計画」の作成
- 計画に基づき取組の実施・評価・見直しを実施 →PDCAサイクル